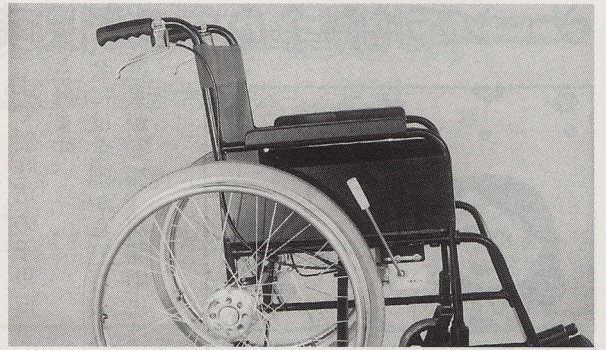


探訪 チャレンジ企業 13

利用者の声を製品に 根上町・川端鉄工所

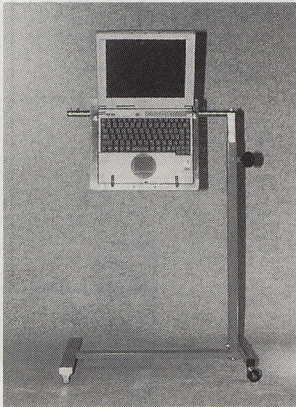


利用者の声を製品に

企業は目標を明確にし、その実現に邁進する時、非常に大きな力を発揮する。そこには世のため人のために役立つという願望が企業活動の根源にある。たとえ下請企業であっても、技術力の向上に日々努力することが、企業に課せられた使命と強く意識した時、企業は必然的にオリジナル製品の開発に向かい、時代の要請に答え得る体制が整備されてくる。そして大企業が決してなし得ないようなことを実現する。これにぴったりの該当するのは、根上町にある川端鉄工所である。

企業の概要と経過

川端鉄工所は、ご主人川端勇さんご夫婦、長男正一さんご夫婦、次男裕二さんの一家五人で取り組んでいる個人企業である。三十一年前ご主人が、大手企業の下請として創業し、常に技術力の向上に努



寝たきりのままでも利用できる
パソコン設置器具

ができない。この現状から先ず第一に身体に障害のある方や介護の方の声を聞き、その身体になって工夫改良を加え製品化することが必要である。この過程を経た製品は大変喜ばれ、これが却って製品開発

の製品改良が始まりである。健康な人は、既存の製品に身体を合わせる事ができるが、身体に障害のある方は、そうはいかない。機械や器具の方で合わせてあげねば、それらの機械や器具を利用することができない。この現状から先ず第一に身体に障害のある方や介護の方の声を聞き、その身体になって工夫改良を加え製品化することが必要である。この過程を経た製品は大変喜ばれ、これが却って製品開発

新しい時代への飛躍に向けて
企業の明日を応援します。

今年が商工会法
施行四十周年
の年です。

このコーナーでは石川の「チャレンジ企業」を応援しています。取材を希望される方は最寄りの商工会をお訪ねください。

TEL 〇七六一二二〇九三三
FAX 〇七六一二二七七八〇
TEL 〇九二九一〇二二六
石川県能美郡根上町山口町
ホ一七の七

新製品の数々

新開発した製品は、片手が不自由でも電話しながらメモが取れる受話器ホルダー、パイプスタンド、車椅子に乗ったまま落とした物が拾えることができる車椅子ブレイキ、介護用ブレイキ、寝たきりの方が利用するパソコン設置器具等多々ある。特に身体の不自由な方は一様でないため、その人その人に最も適した仕様でないとは本当に役立つといえない。それだけに、声を聞き、アイデアを出し、製作すべきことは無数にあるといわれる。



「身体の不自由な方のため、製作すべきことは無数にある」と言う川端正一さん（左）、裕二さん（右）

まとめ

製品一つ一つがチャレンジの連続である。このようなことができるのは、ご息が力を合わせ、今日まで培ってきた技術力を通してお役に立ちたいという真摯な気持ちに常に根底にあるからである。一般に売れる製品づくりといわれるが、それは頭で考えてはできない。利用者と一緒にやってこそ初めてできるのである。それには小回りができ、試行錯誤を恐れない旺盛な意欲が必要である。若さがある小規模企業こそが成し得ることであり、川端鉄工所は正にその代表といえよう。

川端鉄工所

（お問い合わせ）